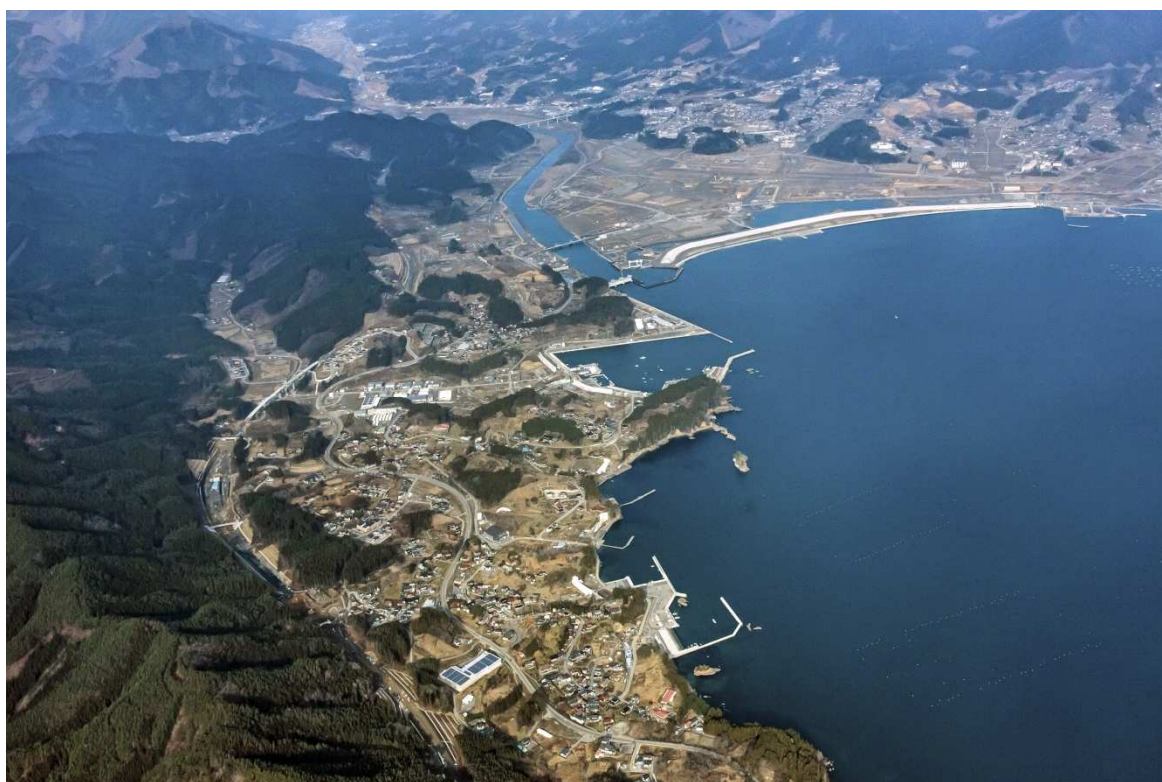


『見える』あんぜん事例集

第3集



『陸前高田市内』写真提供：飛島建設（平成28年12月）



気仙地区復旧・復興関連大規模建設工事
安全衛生等連絡協議会



はじめに

職場の中にはさまざまな危険・有害な状態が潜んでおり、その危険状態等は労働災害を発生させる可能性があります。

労働災害を防止するためには、その危険状態等を認識あるいは予測し、事前に適確な対策を講ずることが不可欠ですが、危険状態等は必ずしも視覚的に見えているとは限らず、認識あるいは予測が十分にできない場合があります。

これらを可視化（見える化）すれば、認識あるいは予測の可能性が広がり、労働災害の防止にも大いに役立つことができます。

人間は日常生活や仕事において、五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）から外部情報を入手しますが、五感から情報をつかむ割合は、視覚によるものが約8割と、目からの情報入手が大半を占めています。

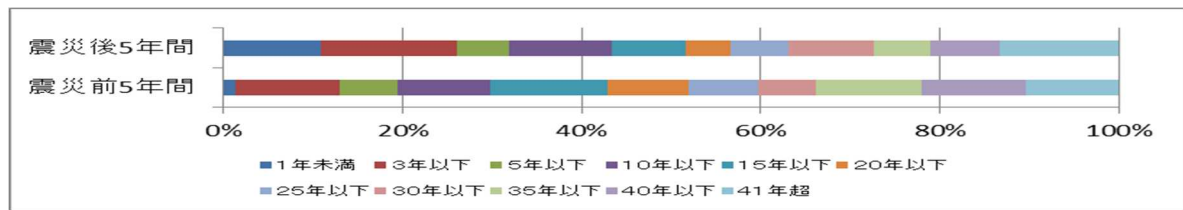
当協議会では、この「見える安全活動」を、職場における危険性や有害性に係る安全管理の一手法として展開し取り組みました。

このたび、協議会員の取組みをまとめた、『見える』あんぜん事例集（第3集）を作成しましたので、建設業における労働災害防止対策の参考としていただければ幸いです。

平成29年1月

作 成 : 気仙地区復旧・復興関連大規模工事
安全衛生等連絡協議会
監 修 : 大船渡労働基準監督署

労働災害の現状からみる「見える化」の有効性



	1年未満	3年以下	5年以下	10年以下	15年以下	20年以下	25年以下	30年以下	35年以下	40年以下	41年超	計
震災後5年間	10.8%	15.3%	5.7%	11.5%	8.3%	5.1%	6.4%	9.6%	6.4%	7.6%	13.4%	157人
震災前5年間	1.3%	11.7%	6.5%	10.4%	13.0%	9.1%	7.8%	6.5%	11.7%	11.7%	10.4%	77人

※震災前は平成18年1月1日から平成22年12月31日発生分
 震災後は平成23年3月12日から平成27年12月31日発生分
 （平成23年は1月1日から3月11日まで発生なし）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
1年未満	5	2	1	3	2	4			17
3年以下		5	4	4	7	4			24
5年以下		3	2	4					9
10年以下		4	1	4	4	4	1		18
15年以下			6		6	1			13
20年以下			2	6					8
25年以下				4	1	5			10
30年以下				1	10	4			15
35年以下					5	5			10
40年以下					5	6	1		12
41年超					1	16	4		21
計	5	14	16	26	41	49	6		157

【コメント】

- ① 震災前後での労働災害による被災者の経験期間を比べると、「1年未満」が著しく増加しており、「3年未満」まで範囲を広げると、その合計率は震災前の2.0倍となっている。現在、震災から6年が経過しようとしていることから、経験期間の比較を「5年未満」まで範囲を広げてみても、その合計率は震災前の1.6倍となっており、震災後から新たに建設業で働き始めた者による被災率が著しく高い状況がわかる。
 また、「経験期間が短い＝年齢が若い」ではない傾向もある。
- ② 一方、次いで多いのが年代・経験ともに高い「60代・経験41年超」となっている。

有効性1 危険状態等を認識あるいは予測するためには業務に対する一定の経験が必要ですが、東日本大震災にかかる復旧・復興工事が本格化している気仙地区（大船渡市、陸前高田市、気仙郡住田町）では、人材不足の影響もあり経験年数の少ない労働者の就労が多く、被災割合も経験年数の少ない労働者では震災前と比べ倍増しています。一定の経験が無くても危険状態等を認識等できるようにすることが労働災害を減少させるために必要です。

有効性2 年代と経験年数がともに高い労働者での被災割合も高くみられます。このような労働者は、一般的には経験も豊富で危険状態等の認識等が十分にでき得る人と言えます。しかし、弱点としては、これまでの経験からの慣れや軽視、運動機能の低下などがあります。知っているはずのことを見える化によって再認識させることが労働災害を減少させるためにも有効です。

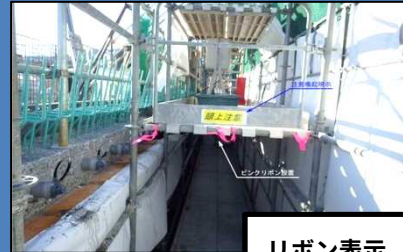


労働災害防止のための『見える化』に積極的に取り組んでみませんか

左と右 どちらがいいですか？



【よくある災害事例】
足場内を歩行中、頭部
(ヘルメット)をいきよい
よくぶつけ、頸椎損傷。



リボン表示

左と右 どちらがいいですか？

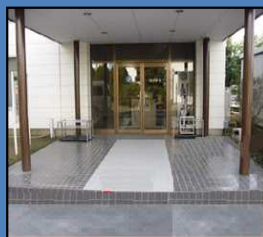


【よくある災害事例】
後進してきた建設機械にひ
かれ、死亡。



看板設置

左と右 どちらがいいですか？



【よくある災害事例】 転倒災害。



左と右 どちらがいいですか？



【よくある災害事例】 架空線切断事故。



『見える化』はさまざまな視点から取り組むことができます

危険箇所への直接・間接的な『見える化』



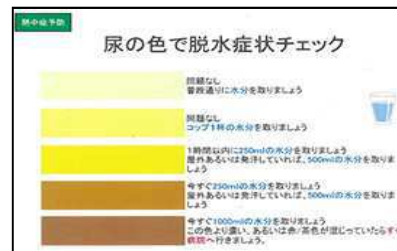
判断基準の『見える化』



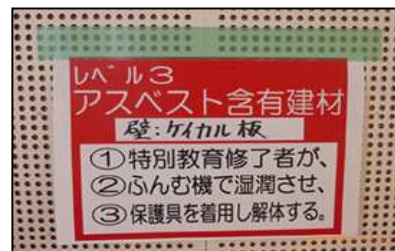
危険範囲の直接・間接的な『見える化』



レベル（度合）の『見える化』



情報の『見える化』



ルールの『見える化』



人の『見える化』



手順などの『見える化』



意識高揚の『見える化』



事例集

(第3集)

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例1. 入退場時ルールに見える化



事例の概要	資材搬入の車に入退場のルートを記載した現場の地図を作成し、商社を通じて周知しています。
-------	---

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例2. ダンプトラック走行路の見える化 【道路盛土部場内】



事例の概要	消石灰の白色ラインで路側帯と矢印を表示することで、ダンプトラック運転手の視線誘導を図っています。
-------	--

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例3． 白色ラインによる作業員通路の見える化



事例の概要

作業員通路とダンプトラック走行路や車両系重機の作業範囲を分離し、作業員が安心して移動できる通路を確保しています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例4． 広い場内での作業員横断箇所の見える化



カラーコーンと旗で横断位置を明示

事例の概要

近道行為などの不安全行動を防止することを目的として、横断箇所を決めるとともに、カラーコーンと旗などで横断箇所を明示しています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例５． ダンプトラック等搬入車両への行き先明示



事例の概要

現場内工事用道路にダンプトラックの行き先明示看板を設置しています。運搬経路を明確にすることで、運搬経路での車両同士の接触を防ぎ、他の車両への注意喚起も行っています。搬入先や搬入資材の種類によりマグネットを変えることで様々なパターンに対応できます。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例６． 夜間の工事車両動線の可視化



事例の概要

工事現場内車両動線は単管バリケードで区画していますが、夜間は見えにくいため「赤・緑点滅ランプ」を設置し見える化を図っています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例7. カラーコーンでの色分けによる明示等

カラーコーンの色分け仕様



作業半径内
立入禁止



資材置場



安全通路



駐車場

赤系: 作業帯及び立入禁止措置

青系: 資機材置場

緑系: 安全通路

黄系: 駐車場



事例の概要

カラーコーンを色別使用用途を定めて設置し、安全通路、資材置場等を明確にすることにより、接触災害防止に努めています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例8. 「資材置き場」の見えるか



事例の概要

現場内の各職毎に、資材置き場を（バリケード）で区画しています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例 9. 現場事務所の周囲に立入禁止措置



事例の概要

現場事務所の敷地の後側に立入禁止用安全ロープを張り、間にセーフティーコーンを設置し、出入箇所を前面だけに固定しています。また、出入箇所をわかりやすくしました。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例 10. 「作業通路」の見えるか

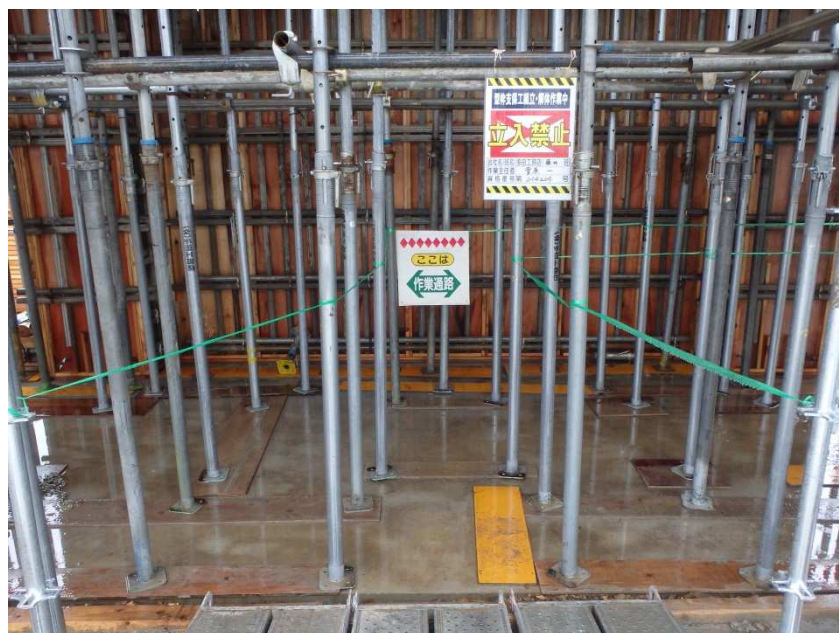


事例の概要

作業通路と昇降設備を表示・明示してわかりやすくしています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例 11. 支保工存置期間における内部作業通路の見える化



事例の概要

支保工存置期間での通行の際(主に型枠大工用)、内部通路が分かりにくく通行しにくいので、ナイロンテープで通路を定め、表示による「見える化」を行うことで通行しやすくなりました。

【通路・移動ルートの見える化、整理整頓の見える化】

事例 12. 完成前の階段への立ち入り禁止表示バリケード設置



事例の概要

展望等の理由で完成前の階段への立ち入りが考えられるため、関係者以外立入禁止の表示をしてバリケードを設置しています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例 13. 工事現場内に立ち入らないように看板を設置



事例の概要

船舶関係者が立ち入りすることが予想されるため、立ち入られないように看板を設置しています。また、不用意に立ち入りした場合の責任の回避も表示しました。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例 14. 場内表示の明記 清掃環境の見える化



事例の概要

専用の置き場を用意して整理整頓をわかりやすくしています。

【通路・移動ルート、現場内立入禁止、整理整頓の見える化】

事例 15. ゴミ収集の見える化



事例の概要

事務所で発生するゴミをより細かく分別して収集することにより、資源の再利用を図っています。

【危険箇所の見える化】

事例 16. 勾配のある作業通路に対する足元対策



事例の概要

勾配がある作業通路部は、降雨時や冬期において非常に滑りやすくなります。そのため、木材を用いた滑り止めを施すとともに注意喚起看板を設置することで「安全の見える化」を図っています。

【危険箇所の見える化】

事例 17. 道路横断時の安全の『見える化』

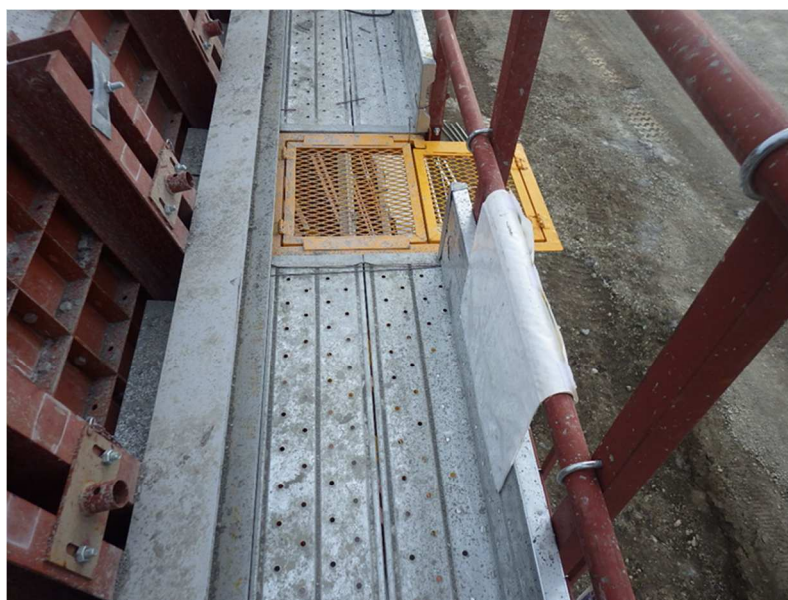


事例の概要

作業場所から休憩所へ行く途中、道路横断になることから、一般車両との接触事故防止のために注意喚起表示板を設置しています。

【危険箇所の見える化】

事例 18. 足場階段の開閉式ハッチ

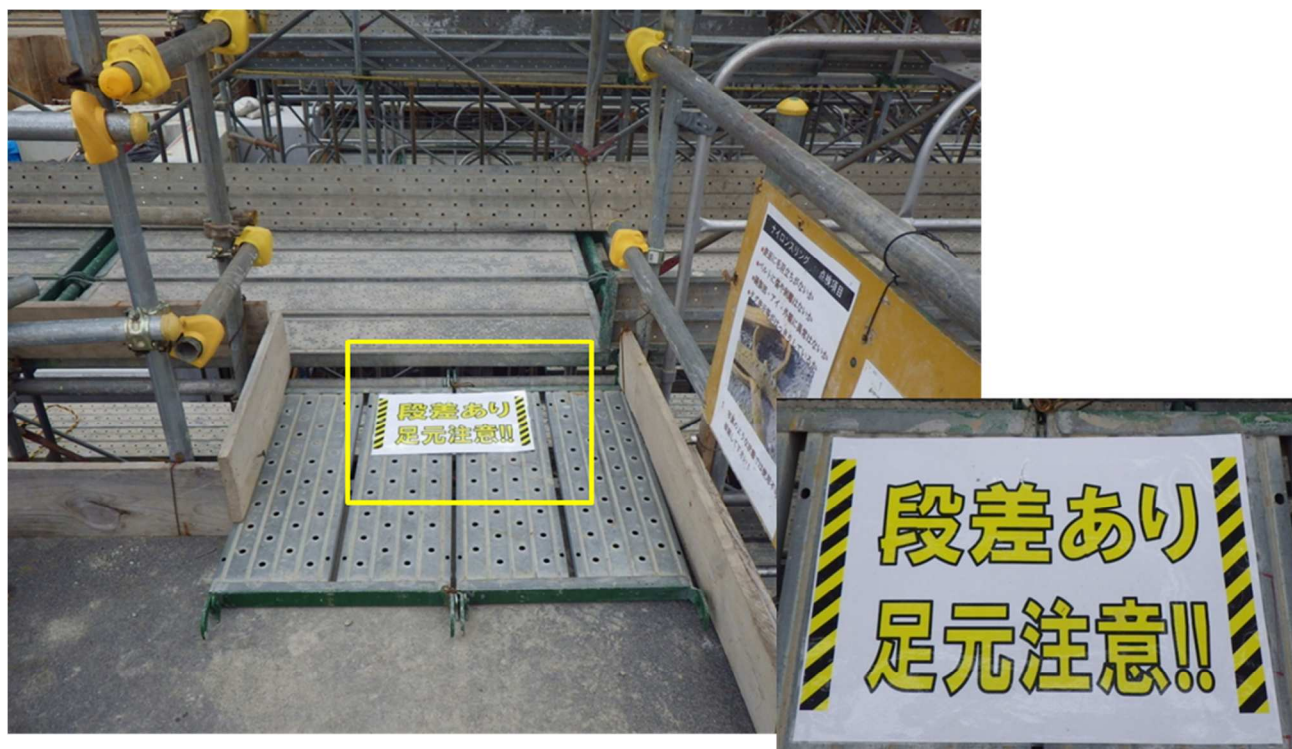


事例の概要

開口部が閉じているか開いているかを、着色により、視認し易くしています。

【危険箇所の見える化】

事例 19. 作業通路の段差に対する注意喚起の『見える化』



事例の概要

作業通路にできた段差の躓き対策として足元に注意喚起表示をしています。

【危険箇所の見える化】

事例 20. 足場最下段部における段差の見える化

段差あり
踏み外し防止の
テープ表示



事例の概要

外部足場の昇降部において、階段の一段目と地盤との段差があるため、布板で段差を解消し、周囲をトラテープで段差からの踏み外しをなくす注意喚起表示を行っています。

【危険箇所の見える化】

事例 21. 「床、段差」の見えるか



事例の概要

現場内通路の段差に注意喚起表示テープを貼り付けています。

【危険箇所の見える化】

事例 22. 追突災害の防止



事例の概要

前方不注意、また、入口の高さを見誤って頭がぶつかり、頭部、頸椎を傷めてしまう危険を予防するために、注意喚起の標識の掲示を行っています。

【危険箇所の見える化】

事例 23. 現道橋梁前後の段差箇所に注意看板設置



事例の概要

現道の橋梁前後に段差があるので注意するように看板を設置しています。

【危険箇所の見える化】

事例 24. 法肩表示



事例の概要

法肩を赤白ポールにより明示を行うことにより、重機が法肩から転落するのを防止しています。

【危険箇所の見える化】

事例 25. 仮設道路路肩の幟旗による注意喚起



事例の概要

捨石により仮設道路を造成中に、安全ロープとリボンによる路肩注意表示以外に「路肩注意」の幟旗を 40m に 1 箇所立て、ダンプ運転手への注意喚起をしています。

【危険箇所の見える化】

事例 26. 作業員に対する注意喚起

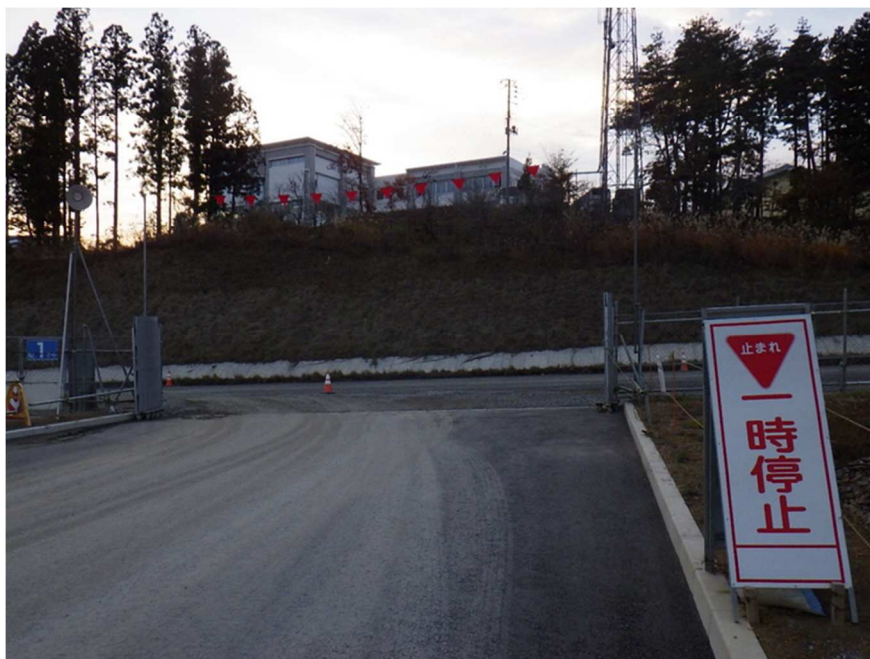


事例の概要

開口部を単管柵で囲い、開口部の注意喚起と作業員の意識高揚の見える化を図っています。

【危険箇所の見える化】

事例 27. 「架空線」の見えるか



事例の概要

ロープと三角旗による架空線の注意喚起をしています。また、搬入車両出入口に、一時停止標識看板も設置しています。

【危険箇所の見える化】

事例 28. 作業ヤード入り口架空線の幟旗による注意喚起



事例の概要

捨石仮置きヤード入り口に高さ 3.8m で高さ制限表示をするとともに、「架空線注意」の幟旗を入り口の両端に立て、出入りする車両に注意を喚起しています。

【危険箇所の見える化】

事例 29. 「架空線」の見えるか



事例の概要

架空線の注意喚起を三角旗の配置で行っています。

【危険箇所の見える化】

事例 30. 注意喚起標識の設置



事例の概要

場内架空線付近に「のぼり」を設置し注意喚起を行っています。

【危険箇所の見える化】

事例 31. インフラ（架空線）位置の見える化



事例の概要

登り旗を設置して、作業員及び重機・ダンプの運転手が架空線の位置が確認出来るようにしています。

【危険箇所の見える化】

事例 32. 架空線下での作業における注意喚起の見える化



事例の概要

オペレーターから見える側のバックホウのブームに『本日架空線作業有』の標識を貼り付けて、運転作業中の失念の防止措置を図っています。

【危険箇所の見える化】

事例 33. 「救命浮環」の表示



事例の概要

緊急時に何処に救命浮環があるか直ぐ確認出来るように「のぼり」を設置しています。

【危険箇所の見える化】

事例 34. 「救命浮環」のぼり設置による見える化

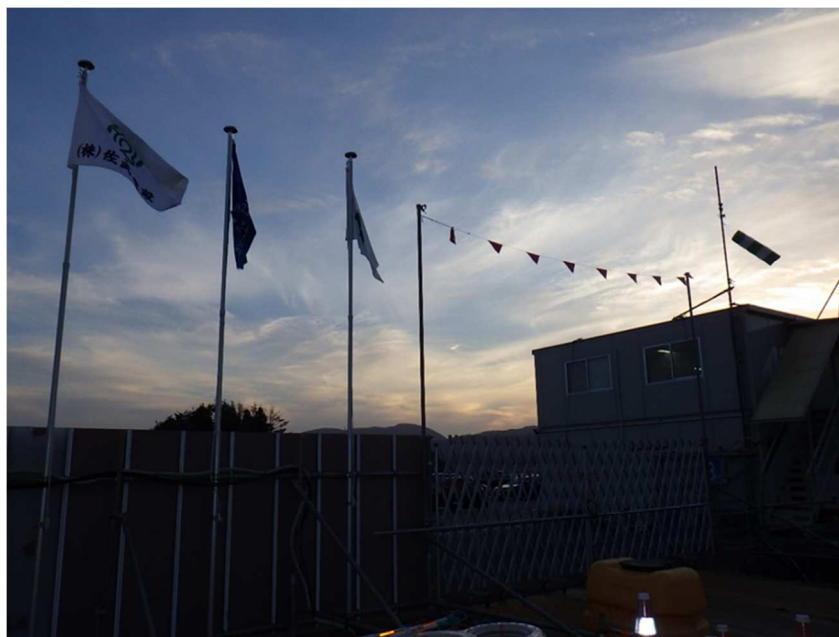


事例の概要

広範囲の現場では、救命浮環がどこに設置してあるか遠方からでは判り辛く、のぼりを設置する（他の旗とは色違い）ことで視認性を向上させています。

【危険箇所の見える化】

事例 35. 「現場内風速」の見える化

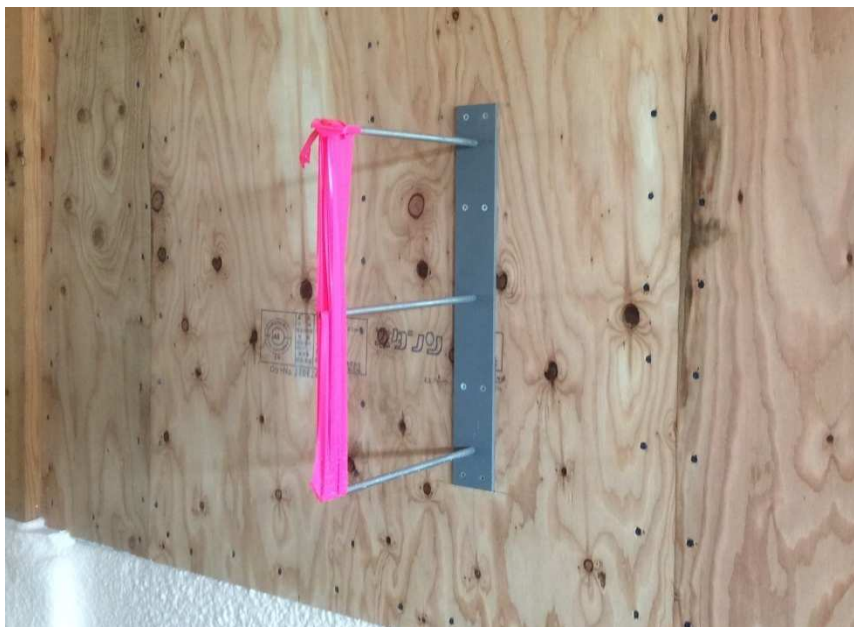


事例の概要

高台に工事現場があり突然強風が吹く場合があります、クレーン楊重時におおよその風速をどの位置からも確認出来るように、吹流しを取り付けています(北面・南面 2ヶ所)

【危険箇所の見える化】

事例 36. 差し筋等突出物の見える化



事例の概要

仕上げ物取り付け用の下地や躯体工事の差し筋など突出して引っかかりの危険がある物には、蛍光色のリボンを巻き、養生と作業員の注意を引かせるための注意喚起表示を行っています。

【危険箇所の見える化】

事例 37. オペレーターに対する注意喚起



事例の概要

仮締切内での掘削作業の為、重機オペレーターが切梁等に接触しないよう注意喚起ポスターを見やすい場所へ貼り付けています。

【危険箇所の見える化】

事例 38. 『鋼管杭 横転防止キャンバー』の見える化



事例の概要

鋼管杭仮置き時に使用する横転防止用のキャンバーを着色し、識別しやすくして設置忘れを防止しています。また、手元の挟まれを防止するため持ち手を設けています。

【危険箇所の見える化】

事例 39. 鋼管杭の回転移動防止の『見える化』



事例の概要

鋼管杭の保管時に輪止めの他に特殊金具を設置して回転移動防止を図りました。

【情報の見える化】

事例 40. 埋設物の見える化



事例の概要

ボックス内に埋設した電線・電話線の位置をボックス入口に表示し、次工程（舗装工事等）施工時に、失念して、埋設物を支障することのない様、注意喚起を行っています。

【情報の見える化】

事例 41. 地下埋設物の表示



事例の概要

地下埋設物が存在する区間を表示し、公衆災害防止に努めています。

【情報の見える化】

事例 42. 造成計画高さの見える化



事例の概要

現場内に造成計画高さの看板を設置し、一般者が見ても造成仕上がり高さがわかるようにしています。

【危険範囲の見える化】

事例 43. 「作業旋回範囲」の見えるか



事例の概要

移動式クレーンの旋回範囲の区画明示をしています。(セーフティーコーン)

【危険範囲の見える化】

事例 44. クレーン周辺の立ち入り禁止対策の『見える化』



事例の概要

移動式クレーン作業の立入禁止範囲をカラーコーンとバーで明確にしています。

【危険範囲の見える化】

事例 45. 作業エリアの明示



事例の概要

作業エリアを明示することにより重機による巻き込まれ災害を防止しています。

【危険範囲の見える化】

事例 46. 『三点式杭打ち機 旋回範囲』の見える化



事例の概要

三点式杭打ち機の本体背後にプラスチックシートをぶら下げ、機械本体の旋回範囲を明示し、立入禁止の注意喚起を図っています。

【危険範囲の見える化】

事例 47. ドラグショベルの接触事故防止の見える化

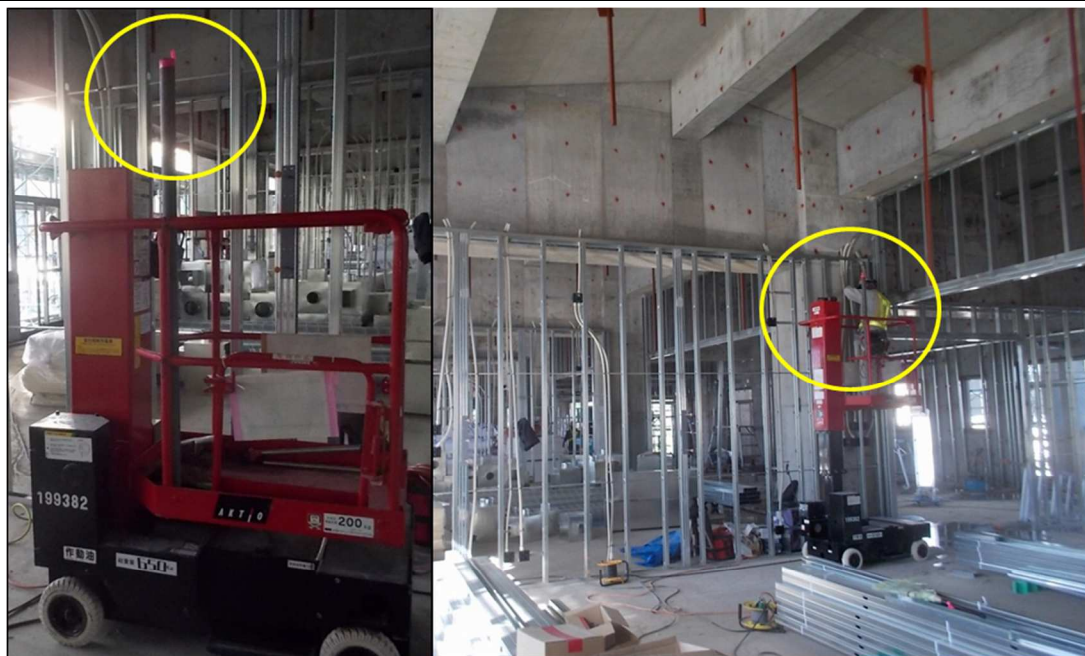


事例の概要

ドラグショベルのアームのオベから見える位置に「人払いの徹底」、作業員から見える位置に「作業半径に近づくな」を表示し、ドラグショベルと作業員双方に注意喚起を行い、接触事故防止を図っています。

【危険範囲の見える化】

事例 48. 高所作業車による挟まれ防止策



事例の概要

上部スラブ等に挟まれることを防止するため、高所作業車に安全支柱（単管パイプ）を取り付けています。また、支柱先端の視認性をよくするため蛍光色リボンで注意喚起表示（見える化）しています。

【危険範囲の見える化】

事例 49. 入退場時ルールに見える化



事例の概要

現場の出入り口で見通しの悪い箇所にカーブミラーを設置して走行車両に見える様になっています。

【危険範囲の見える化】

事例 50. 見通しの悪い仮設道路の安全走行の『見える化』



事例の概要

コンクリート構造物の間に設置した仮設道路が見通しが悪いことからカーブミラーを設置しています

【危険範囲の見える化】

事例 51. 注意喚起標識の設置



事例の概要

現場出入口から退場する際、正面に「一時停止・左右確認」の大型横断幕を設置し注意喚起を行っています。

【危険範囲の見える化】

事例 52. 高床式の足場を設置して交通誘導員の位置の見える化



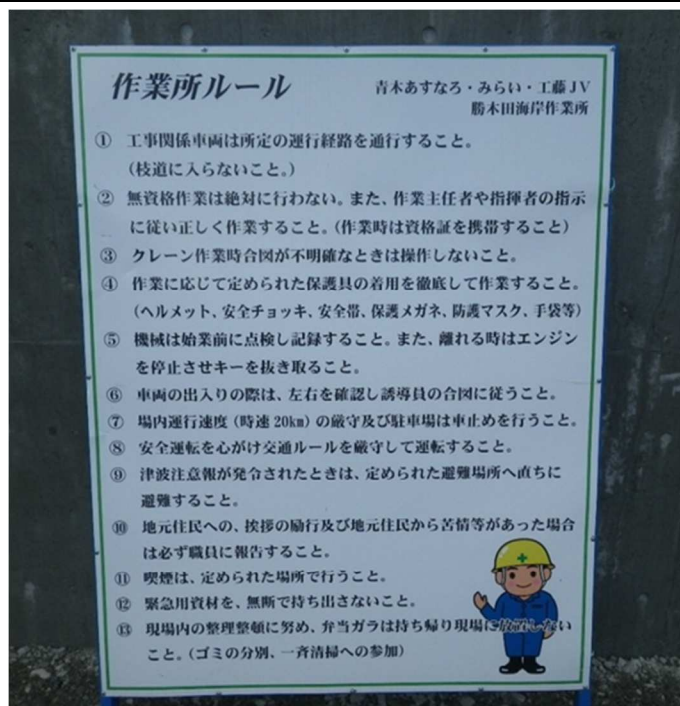
交通整理員と単管足場

事例の概要

ダンプトラック出入口での交通誘導において、高床式足場を設置して、交通誘導員の位置を明確化するとともに、交通量の多い条件下での交通誘導員の視認性を高めて、確実な停止・誘導を進めています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 53. 作業所ルールの『見える化』



事例の概要

新規入場時に説明した作業所ルールを再認識できるよう掲示しています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 54. 『アースの正しい設置方法』の見える化

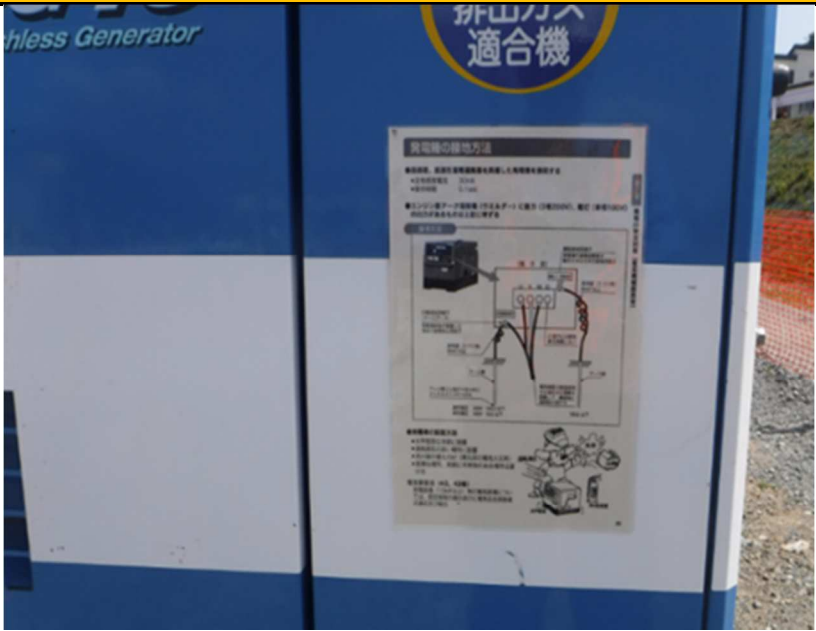


事例の概要

発電機や分電盤等のアースの設置方法をステッカーで明示し、アースの確実な設置により感電事故防止に努めています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

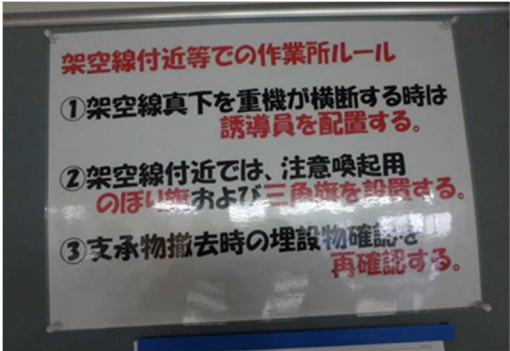
事例 55. 発電機アース接地手順の見える化



事例の概要	発電機のアース接地に係る不備が散見されたことから、発電機のアース接地手順を発電機の見えやすい箇所に掲示することで、不適切なアース接地を防止しています。
-------	---

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 56. 作業所ルールの見える化



事例の概要	作業所のルール及び熱中症予報看板等を安全掲示板に掲示して作業員の安全意識の高揚を図っています。
-------	---

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 57. ダンプトラック過積載防止の見える化

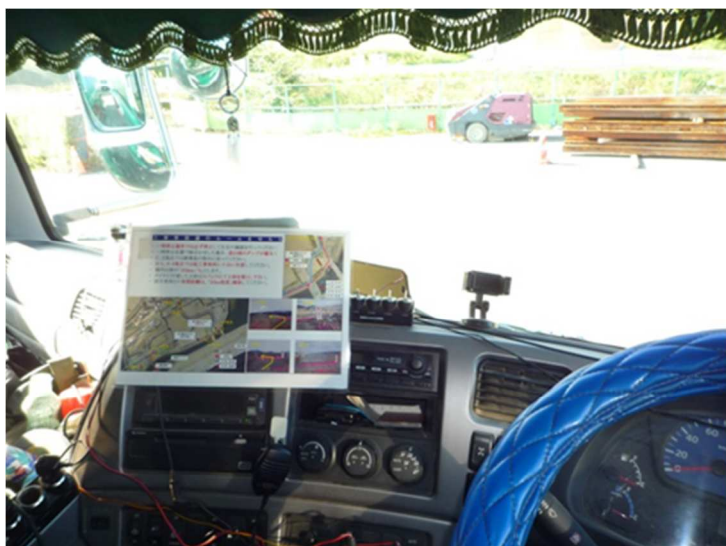


事例の概要

重機オペレーターから見える位置に積載制限を表示することで、過積載防止につながり、運搬中の積荷の落下防止にもなり、安全性の向上につなげています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 58. 工事車両の安全運行のための「見える化」



事例の概要

工事現場内の運行ルールを工事車両の運転者に徹底させるために、各工事車両の運転席から見えやすい位置に、運行ルールをわかりやすく図示して掲示しています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 59. クラクション合図徹底による接触事故の防止



事例の概要

接触事故防止のためにクラクション合図の徹底について運転手への明示看板を設置しています。狭いヤードでの搬入になるので、他の搬入車両や作業員へ周知するために、クラクション合図を後退時には2回、前進時には1回鳴らすように徹底させています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 60. 工事車両のバック誘導の『見える化』



事例の概要

工事車両の運転手が常に誘導無しではバックしないことを意識させるために、運転席のドアに表示しています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 61. 工事用エレベータの操作における見える化



事例の概要

工事用エレベータの操作手順に番号を表示することで、誰でも安全に使用できるよう見える化を図っています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 62. ドラグショベルからの転落防止対策（シートベルト着用）の『見える化』



事例の概要

傾斜地で作業するドラグショベルの運転席内にシートベルト着用表示をしています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 63. 重機・車両離席時のルール見える化



事例の概要

重機・車両（ダンプ等）運転手の離席時のルールをシールにして運転席に表示することにより、意識の高揚を図りルール違反を防止します。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 64. 重機使用グリースの『見える化』



事例の概要

海中掘削用の重機と陸上掘削用の重機は、環境への配慮として、生分解するグリースと普通のグリースを使い分けている為、重機の整備の際、間違えて使用しないよう見える化を行っています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 65. 重機のバケット重量の『見える化』



バケット重量

種 類	重 量	容 量	備 考
標準バケット	0.65t	0.7m ³	約2.0t
スカルドバケット	1.10t	0.8m ³	約2.7t
法面バケット	-	-	-

車両系建設機械の取扱いについて

1. 作業前点検を行い、作業を開始して下さい。⇒ 点検済記入
2. 重量は必ず確認して下さい。
3. 重量が重くなる際は、エンジンも止めてバケット・地を地へに押し、確認して下さい。⇒ エンジン止
4. 重量や容量の異なることに注意して下さい。

青木あすなろ・みらい・工務JV

事例の概要

ドラグショベルのバケットの種類ごとの重量と容量に応じた重量を掲示し、運転手に確認させ重機転倒災害を防止をしています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 66. 安全帯は腰から上に

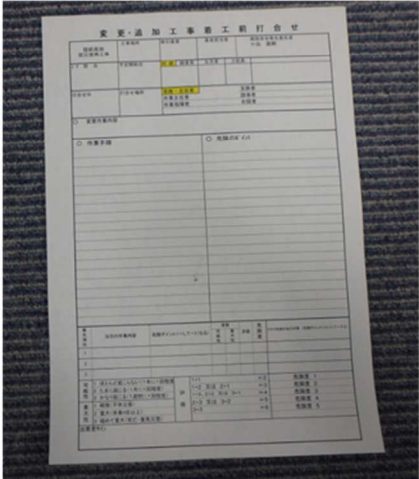


事例の概要

安全帯を確実に使用していることを見える化。蛍光シールを安全帯フックに貼る事で、遠くからでも使用状況を確認でき、安全意識向上に一役買っています。

【ルール・安全作業手順の見える化】

事例 67. 緊急時用避難梯子	
	
事例の概要	緊急時以外は使用されないように標示を掲げています。

事例 68. 作業内容変更時の作業所のルールの見える化	
追加・変更工事着工前打合せシート  	
事例の概要	作業所のルールの一環で、作業手配に変更又は追加工事が発生した時はルールに従って下記シートを使用して打合せを行う事としています。場内各所及び打合せ室入口に掲示することで職員及び職長の意識を高めています。

【判断基準の見える化】

事例 69. 玉掛用具の廃棄基準の『見える化』



事例の概要	玉掛ワイヤーやスリングベルトの廃棄基準が一目でわかるように写真で表示しています。
-------	--

【人・物の見える化】

事例 70. 保有資格の見える化

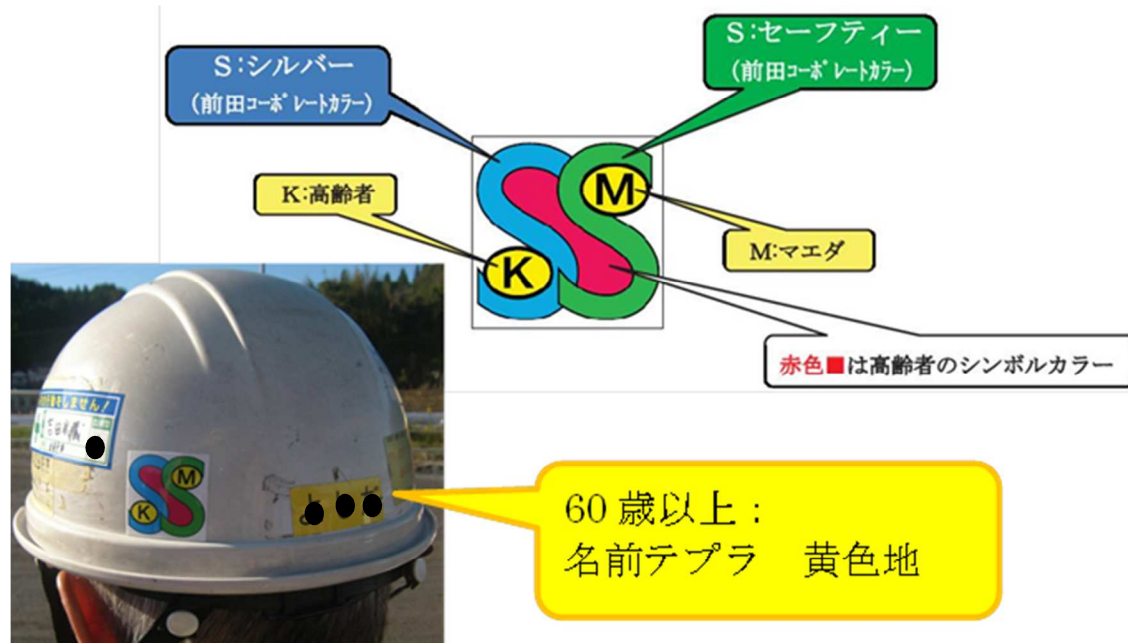


前田建設工業(株)		有資格	
本日私が作業に従事します		2級土木施工管理技士	免
		大型自動車	免
		車両系(整地)・ガス溶接	技
		職長教育、足場	特
		高所作業車(10m未満)	特
		クレーン運転者(5t未満)	特
		軌条動力車・車両系(締固め)	特
		アーク溶接・研削といし	特
		酸素欠乏・小型ボイラー	特
		前田 太郎 ○型	
JV 前田・高惣・長谷川特定共同企業体			

事例の概要	作業に必要な資格を保有しているか、現地で簡単に確認できるよう、ヘルメットに顔写真と共に保有資格等を明示するようにしています。朝礼後の KY 時に職員から手渡すことで、作業に対する責任感が向上します。
-------	---

【人・物の見える化】

事例 71. 高齢者の見える化



事例の概要

近年、高齢者による災害が多発しており、適正配置が重要となる中で、一目で簡単に判断できるように、名前のテプラ（60 歳以上黄色地）及びステッカー（65 歳以上）で識別できるようにしています。

【人・物の見える化】

事例 72. 安全パトロールの見える化



事例の概要

工事用連絡車に「安全パトロール車」のマグネットを貼ることにより、現場巡回時に作業員が、安全パトロールが来たことを認識でき、安全作業をします。安全担当者は、特別注文のチョッキと2丁掛け安全帯を装着して現場パトロールをすることにより、作業員の安全意識の高揚を図ることが出来ます。

【人・物の見える化】

事例 73. 一般道路を走行する工事用車両『工事件名』の見える化



事例の概要

一般道路を走行する工事用車両に工事件名がわかるマスクを装着し、一般の方々にどこの工事用車両なのかを認識できるようにしています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 74. 安全意識高揚の見える化



事例の概要

場内出入口に安全標示をして安全意識の高揚を図っています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 75. 「掲示板、安全表示」の見える化



事例の概要

朝礼広場の安全掲示板に、「墜落防止」「機械」「玉掛」の安全 5 掲示をし、全作業員に周知できる様にしています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 76. 「災害事例周知」の見える化



事例の概要

朝礼広場の安全掲示板に災害事例を掲示し、注意喚起を促しています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 77. 「安全掲示ポスター等」の見える化



事例の概要

休憩所や安全看板に災害事例や作業基準などを掲示し作業員へ注意喚起を促しています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 78. 安全掲示板にその日の気象情報を掲示



事例の概要

毎日の気象情報を掲示板に貼り、作業員に周知してもらい、その日の作業及び明日の作業への対策ができるようにしています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 79. 埋設物及び架空線等の危険場所の『見える化』

埋設物及び架空線位置図の掲示



施工箇所の注意喚起標示



事例の概要

現場内にある埋設物や架空線の位置図を掲示し危険箇所の周知を行っています。また現場には、作業前に注意喚起標示を設置することにより見える化を行い、事故発生を防止しています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 80. ダンプトラック運行ルート上の危険箇所の『見える化』

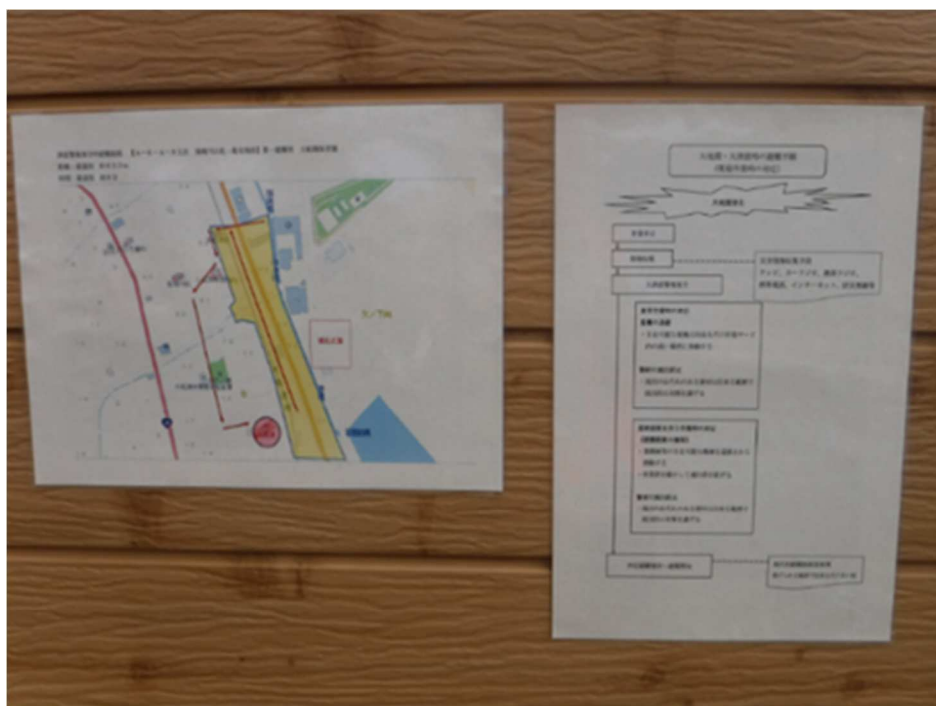


事例の概要

現場からダンプトラックにて場外に捨石を搬出する運転手全員に運行ルートにおける危険箇所を事前にわかり易く周知させる為、ハザードマップを作成し周知を行っています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 81. 大津波避難場所の見える化



事例の概要

工事区域は津波避難地域になっていますが、工事区域は広く区域ごとの避難場所の周知が課題でした。避難訓練の実地訓練とともに、工事区域の仮設トイレやユニットハウスの作業場所ごとの避難場所及び避難手順を明示することで周知を図っています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 82. 掲示板にその週の作業予定を表示

	菅原組	その他
10/10(月)	上部型枠 乳剤散布・メッシュ	
11(火)	上部工 コシ打 ボソウ コシ打	明伸テビング セーラー部
12(水)	上部型枠・段取り ホソウコン マット 水散布	
13(木)	脱枠・養生 上部型枠 割栗埋戻	社内バトロール 11:30~12:00
14(金)	上部型枠 埋戻し養生	仮設 11+13. 2枚 フェニ荷おろし
15(土)	上部型枠 埋戻し養生	

事例の概要

安全掲示板にその週の作業予定を表示して作業員に周知しています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 83. 「安全決意宣言」の表示



事例の概要

支店トップ、職員、各職長の「安全決意宣言」を、お互いに確認して作業へ当たれるよう、見易い場所へ掲示しています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 84. 作業環境(WBGT、風速等)の表示



事例の概要

現場出入口付近に、温度、湿度、WBGT 値(黒球付)、風速、風向が掲示される大型電光掲示板を設置し、異常時には回転灯にて知らせるよう注意喚起を常に作業員が確認出来るようにしています。(数値化)

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 85. 「安全掲示ポスター等」の見える化



事例の概要

休憩所に掲示し、作業員へ注意喚起を促しています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 86. 『ノー残業デー』の見える化

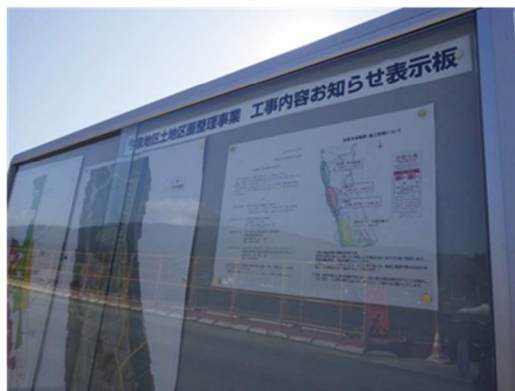


事例の概要

毎週水曜日に JV 事務所の職員出入口にポスターを掲示し、事務所への出入りの度に職員の『ノー残業デー』意識と自覚を高め、定時終業を喚起しています。

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 87. お知らせ看板を設置して、工事内容が解り易いよう見える化した



事例の概要

沿道に工事内容お知らせ看板を設置して、一般住民が工事の概要を解るようにしています。（施工に合わせて掲示物を替えています）

【安全掲示板等による情報の見える化、意識高揚の見える化】

事例 88. 作業員の健康状態を把握するための「見える化」



作業前に血圧測定を
実施しましょう

最高血圧 140 以上
最低血圧 90 以上

は、**高血圧症** です。
注意してください。

作業中に体調不良を感じたら、職長に報告して、休憩を取ってください。

事例の概要

持病原因による事故の発生を防ぐために、作業前の血圧測定の啓発と異常血圧値を作業員の休憩室内に明示しています。

おわりに

見える化を進めるうえで、第1集、第2集もご参考にしてください。岩手労働局のホームページから閲覧できます。



厚生労働省でも見える化コンクールが開催されており、過去の優秀賞の事例もホームページ上で閲覧できます。



事例集作成参加事業場

(五十音順、敬称略)

- 青木あすなろ建設・青木マリーン・工藤建設特定共同企業体
(六ヶ浦漁港海岸災害復旧(23 災県第 521 号防潮堤その 1) 工事)
- 青木あすなろ建設・みらい建設工業・工藤建設特定建設工事共同企業体
(勝木田地区海岸災害復旧(23 災 592 号) 工事)
- 安藤ハザマ・錢高組・樋下建設特定共同企業体
(越喜来地区海岸災害復旧(23 災 519 号及び 606 号) 工事)
- 安藤ハザマ・戸田建設・豊島建設特定共同企業体
(二級河川気仙川筋砂盛地区河川災害復旧(23 災 589 号) 水門土木工事)
- 池田建設(株)
(中赤崎地区(その 1、その 2) 防災集団移転住宅団地整備工事)
- 池田建設(株)・(株)共立土木経常建設共同企業体
(23 災 1174 号市道今泉高田線姉齒橋橋梁災害復旧工事)
- 鹿島建設(株)
(国道 45 号長部高架橋上部工工事)
- 鹿島建設・佐武建設・明和土木・中澤組特定共同企業体
(高田地区海岸災害復旧(23 災 523 号及び 591 号その 2) 工事)
- (株)佐賀組
(只出漁港海岸災害復旧(防潮堤) 工事)
- (株)佐武建設・菱和建設(株) 特定共同企業体
(〔仮称〕陸前高田市総合交流センター新築工事)
- 佐武建設(株)・菱和建設(株)経常建設工事共同企業体
(市立高田東中学校新築工事)
- (株)佐藤組・旭ボーリング(株)特定共同企業体
(大船渡港海岸茶屋前地区災害復旧(防潮堤他)その 1 工事)
- 清水・西松・青木あすなろ陸前高田市震災復興事業共同企業体
(陸前高田市今泉地区・高田地区整地工事)
- (株)竹中土木
(二級河川盛川筋塩場地区河川災害復旧(23 災 635 号)右岸 3 工区ほか工事)
- (株)竹中土木
(大船渡港跡浜地区海岸防潮堤ほか工事)
- 鉄建建設(株)
(国道 45 号 気仙トンネル工事)
- 鉄建建設(株)・(株)明和土木特定共同企業体
(赤崎中学校移転改築工事)
- 東亜建設工業(株)・(株)菊池組・(株)共立土木特定共同企業体
(脇之沢漁港海岸災害復旧(防潮堤)工事)
- 東急・東洋・植木・日本測地・C P C大船渡市大船渡駅周辺地区震災復興事業共同企業体
(大船渡市大船渡駅周辺地区基盤整備工事)
- 東急・正三 特定建設工事共同企業体
(越喜来小学校・越喜来こども園移転改築工事)
- 戸田建設・小原建設・岩手建設工業特定共同企業体
(下甫嶺地先海岸災害復旧(23 災 540 号) 工事)
- 戸田建設・匠建設特定共同企業体
(赤崎小学校移転改築工事)
- 飛島建設(株)
(国道 45 号陸前高田道路工事)
- 日本住宅(株)
(陸前高田市今泉地区・長部地区災害公営住宅建設工事)
- 前田建設・高惣建設・長谷川建設特定共同企業体
(農地海岸保全施設災害復旧事業小友地区第 1 号工事)
- りんかい日産建設株式会社
(大船渡港清水地区海岸災害復旧(防潮堤ほか) 工事)
- りんかい日産建設(株)東北土木支店
(大船渡港 野々田地区海岸防潮堤ほか工事)
- りんかい日産建設・村本建設・菊池組特定共同企業体
(大船渡港永浜地区ほか海岸災害復旧(防潮堤ほか) 工事ほか 1 工事)